

平成 28 年度第 3 回庄原市初任者研修会

平成 28 年 8 月 22 日（月） 庄原市比和自治振興センター・比和自然科学博物館

「庄原市における教育課題を踏まえ、新規採用教職員に対して教育推進上の諸課題等について研修を行い、職務遂行上必要な実践的指導力を養うこと」を目的に、研修会を行いました。

【参加者：小学校教諭 8 名，中学校教諭 7 名，養護教諭 1 名，主事 2 名】

【講話】「前へ！」

庄原市教育委員会 教育長 牧原 明人

教職員としての基本姿勢を大切にすることや授業づくりについて、講話を行った。

- ◆教職員として、自ら鍛え伸びようとする姿勢，探究力をもち学び続ける存在であることが大切である。
- ◆授業を通して、子供の成長する力を引き出し、後押し，加速させること。そのために、「授業を人に評価してもらい，よい授業を参観する，授業を自分で振り返る」ことを続け，授業力を高めること。庄原市では少人数学級が多いため，多様な考えを引き出す手立てを工夫すること。



（参加者の振り返りより）

- ◇教職に対する熱い思いを，今一度意識できた。教えていただいた事項について，一步一步取り組んでいきたい。
- ◇授業において大切なことを教わった。授業前，授業中，授業の終わりの各段階で大切にしなければならないことを意識していきたい。

【講話・演習】「授業づくりについて～学習指導案の作成～」

庄原市教育委員会 教育指導課 指導主事 赤木 一成

授業を企画し構想する上で大切な教材研究について，講話・演習を行った。演習では，2 学期に行う授業の教材研究について，各教科の担当指導主事が指導・助言を行った。

- ◆学習指導要領を踏まえ単元の指導内容を明確にして教材分析を行い，指導方法等を決定すること。
- ◆学習指導案作成時には，児童生徒の学習意欲を高める課題を工夫したり，話し合いを通して考えを深め広げられるよう発問を工夫したりすること。また，学んだことを実感できる振り返り活動を充実させること。



（参加者の振り返りより）

- ◇視点に基づいて自分の授業を振り返ることで，不十分な点について自覚できたので，改善できるよう意識して授業づくりに取り組みたい。
- ◇同学年の先生と一つの教材について話し合った。意見を出し合うことで自分の考えも広がった。

**【講話】「メンタルヘルス研修 ストレスとの上手な向き合い方
～心の健康を保つために～」**

臨床心理士 藤沢 真智

教職員を続けていくために、自分のストレス状況に気付き、日常的、意識的にストレスをマネジメントすることについて、講話を行った。

- ◆ストレスと心身の仕組みを理解し、自分のストレス反応の表れ方を知っておくこと。そして、対処法を学び、日常生活で実践するストレスマネジメントを行うこと。
- ◆職場内のソーシャルサポートの力を高めること。仕事への具体的なサポートや情緒的なサポートにより、しんどさを共感できる組織づくりが大切であること。



(参加者の振り返りより)

- ◇ストレスを感じた時は放っておかず、自分の好きなことをしたりリラクゼーションをしたりして軽減させていくことが必要だと分かった。
- ◇自分がどのようなことにストレスを感じ、どのように心身に表れるかが分かった。避けられないストレスは前向きに付き合いたい。

【講話・演習】「公務員としての在り方（法令演習）」

庄原市教育委員会 教育指導課長 中重 秋登

公務員として職務遂行の根拠となる法令について、講話・演習を行った。

- ◆公務員としての職責を自覚するとともに、法令法規を踏まえたサービス意識をもち、使命感をもって職務を遂行すること。
- ◆学校教育法第11条に規定する児童生徒の懲戒・体罰等に関する参考事例を踏まえ、体罰に対する正しい認識に基づき、指導に当たること。



(参加者の振り返りより)

- ◇公務員は全体の奉仕者であるため、常に「見られている」ことを意識し、節度をもって職務や日常生活を行いたい。
- ◇体罰に当たる行為と体罰に当たらない行為について、演習を通して改めて確認することができた。

【施設見学】「比和自然科学博物館」

比和自然科学博物館長 進藤 眞基

庄原市の豊かな自然に係る展示物やその価値について、館長の案内により見学を行った。

- ◆モグラをはじめ、多くの生物の標本が展示及び管理されていること。標本の貸し出しや館内での学習もできる施設となっていること。
- ◆直接接触して観察できる生物や鉱石の標本があり、授業に活用できること。



(参加者の振り返りより)

- ◇想像以上の規模と生物の種類に驚いた。一つの一つの展示コーナーで学ぶことがたくさんあり、理科や社会科の学習で見学に来て学習したいと思った。
- ◇庄原にはこんな自然と触れ合える場所があるとは知らなかった。生徒たちにも本物に触れる機会をたくさん提供していきたいと感じた。